



**東京都本部
「不屈」No.580付録
東京版No.481
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟**

〒113-0034
東京都文京区湯島2-7-8
労音お茶の水ビル1F
電話 03(6240)0283
FAX 03(6240)0284
振替 00100-5-99628
E-Mail tokyo-chian@bz04.plala.or.jp

都本部第45回大会で開会あいさつをする吉田万三会長 (9月19日 文京区民センター、写真:中嶋育雄)

**1300名会員で迎えた45回大会
同盟は民主的諸活動の中の不可欠の1本の柱**

会長 吉田 万三

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、 治安維持法体制の復活に反対すること。

二、 国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認める。

三、 国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

(会長挨拶要旨)

①世界は大きく変わろうとしている

ウクライナでの戦争を見ると一見過去に逆戻りしているよう見えるが、50年・100年前と比べると、旧植民地は独立し、市民社会は着実に力をつけて、核禁条約の実現に見られるように国際政治まで動かすようになってきた。

その中で、戦争犯罪や植民地支配への反省・謝罪もすすめられていく。当然、新しい時代へと進むには避けることができない。だが、この点でも治安維持法犠牲者に対して謝罪や賠償はおろか調査すらしようとしていない日本は、世界の常識から大きく立ち遅れている。

國賠同盟は小さくとも、日本の進歩にとってなくてはならない存在です。

②都同盟は45回大会を、長年の目標であった会員1300名を達成して迎えることができた

新しい支部建設や支部再建を通じての拡大が大きな原動力です。

そして都本部50周年に向けて、1500名の目標を提案したが、単なる数値目標ではない。各地での民主的諸運動の中で、日本の政治の歪みの根底に横たわる歴史修復主義や特高政治ときっぱりと対決する同盟の、小さくとも一本筋の通った存在が求められている。

さらに多くの地域での支部建設や支部活動の活発化、国会請願署名活動等を通じて会員を拡大し、同盟の存在を知つてもうおう。

③世代交代、世代継承は待ったなしの課題

若い世代は、高齢者と違うさまざまな情報源を持つているが、日本の歴史とりわけ戦前の暗黒政治理については、ほとんど何も教えられないのが共通した特徴です。映画「わが青春つくるとともに伊藤千代子」の上映運動は、それを打ち破る大事な第一歩となる。さら取り組みを強めていこう。

第45回都本部大会への活動報告と運動方針(1)

9月19日、第45回都本部大会を文京区民センターで開き、各支部から39人が参加し、最高現勢で大会を迎えた。50回大会にむけて1500人の都同盟建設をめざし、映画「わが青春つきるもの」の第2次上映運動を柱にした活動方針を全会一致で採択した。

午前の山田朗明治大学文学部教授の記念講演「今日における憲法9条の意義と役割」には45人が参加した。大会のようすを数回に分けて、紹介します。

事務局長報告 中嶋育雄 第45回大会に参加された皆さん、ご苦労さまです。

念願の1300人を突破し、大会を迎えることができました。支部・会員のみなさんの奮闘を讃えるとともに喜び合いたいと思いま

す。

拡大が17人となり、1302人に。そして大会当日の19日に、東村山支部の「千代子」上映会で5人の入会者があつたことが報告され、

れ、123人の会員が増えました。また6支部が再建され、114人が増えています。このように支部建設が同盟建設の基礎となっています。

40周年の取り組みは38回大会前から始まり、今大会までの9年間

うち8年間前進を続け、前大会からは14支部が増、増減なしで4支部で、102人増となりました。

前進している支部の活動は多彩です。「千代子」映画製作運動では、10支部が「千代子」学習会を開き26人拡大。今年の上映運動では現時点で18人増です。「武器なき戦い」や「鶴彬」「布施辰治」

40周年では、犠牲者中心の記念集会があり、遺族を中心に2支部が結成されました。その後に5支部が建設さ

ぱいに」教授の声をかき消し、教室ごと吹き飛ばしそうな米軍機の爆音▼窓から見える軍用車両の色が、黄色から緑に変わります。

沖縄国際大学教授の話。大學は米軍基地真横、窓を開けるところなりますと「会場いつ

などになりました。

これららの支部は、定期的に役員会を開く支部が11支部、9支部が独自の「不屈」を発行しています。

念願の目標を達成した第45回

大会の任務の一つは、新しい次の目標を決める

ことでした。安倍政治を丸ごと引き継いだ

学校で三権分立と教わったでしょ

う。強くなりすぎた行政に付度し

なくてすむ日本社会にしたいもの

です▼沖縄本土復帰五十年の課題

という講演のほんの一部ですが、

鋭い分析満載をわかりやすく話さ

れ、感心することときりでした。

第45回大会へのメッセージ (順不同)	
日本婦人団体連合会	会長 柴田眞佐子
婦人民主クラブ	会長 山田博子
東京自治労	執行委員長 矢吹義則
東京地評	議長 萩原淳
革新都政をつくる会	日本共産党
衆議院議員	笠井亮徹
参議院議員	宮本智子 田村吉良よし子
治安維持法賠償同盟	役員一同
神奈川県本部	最上健造
秋田県本部	正信
兵庫県本部	大石喜美恵
大阪府本部	小松実純
千葉県本部	山村加藤
沖縄県本部	石丸あき
山梨県本部	じユリ
埼玉県本部	高藤



記念講演中の山田朗教授
講演内容は次号から連載

憲法9条を改正し

戦争する国づくりを許さない

山添 拓 参議院議員

大会では来賓の6人から挨拶がありました。今号では、都本部青年部長でもある山添拓参議院議員の挨拶を紹介します。挨拶は編集部が要約しました。



都本部第45回大会にあたり日本共産党を代表して挨拶します。台風の雨と嵐の中での参加に敬意を表します。

議案に「青年部長再選を…」(笑)とあり、7月の参議院選挙で組織内候補として再び国政で仕事をする機会を与えてもらい感謝します。引き続き一緒に全力で政治を動かすために頑張る決意です。

私は法務委員会に所属し、国賠同盟の請願採択を求めてきました。治安維持法の悪法ぶりをまず政府に認めさせ、謝罪と賠償、その調査の内容と公表を求めるという署名は今年の通常国会では衆議院63人と参議院38人の衆参で100人以上が紹介議員となり、その採択を求めています。日本共産党的議員数から比べて本当に多くの議員が、この署名の趣旨に賛同し採択を求めています。全国各地で多くの皆さんのが粘り強く紹介議員を求めてきた結果です。

それは本当に大きなことです。採択はなかなかされないが、その年々の国会会期末には委員会でこの署名は採択するべきとそれぞれがいでのその機会に趣旨を吟味し、賛成する意思を多くの議員にさせてきている、それは市民と野党の共闘がもたらしてきた国会内の大きな変化の一つです。この動きを後戻りさせず、さらにどう広げていくかを国会でも知恵を出し合っていきたい。

自民党と統一協会との関係で、多くの議員が「統一教会の集会だとは知らない」、「統一協

会だと認識していなかった」そして「祝電やメッセージは要請されればどこへでも出す」とまでいう大臣もいます。そんなわけありません。国賠同盟の請願署名の紹介議員にはなっていないので、頼まれればなんでも応じるというなら応じるべきでは?

なぜ、自民党議員の多くが結びついてきたのか? 根っこで反共、反動的な政治の思想での一致点があり、そこに賛同し、あるいは容認し選挙で応援を受けるというメリットを生かし、持ちつ持たれつの関係を築いてきたのです。

戦前、共産主義者とそれと目された運動を弾圧した治安維持法については反省の色も示そうとせずに、共産主義を滅亡させるといいい続けている勝共連合・統一協会との癒着を断ち切るどころか、点検しても点検漏れが相次ぐ、第一認識せずに付き合っているのです。そのもとで統一協会と一番つながりが深刻だった安倍氏を国葬にしようというのです。多くの方が怒りの声を上げているのは当然です。それは希望の現れです。「そのような政治でよいのか」「ゆがみを持ったままよいのか」と怒りを抱えています。

私たちはこの声にもこたえ、いよいよこの先、敵基地攻撃能力の保有と合わせて憲法9条を改正し、戦争する国づくりを名実ともに完成させようとしている政治を許さないために、引き続き全力で頑張ります。もちろん青年部長としても引き続き頑張ります。

岸田政権の官邸独裁を許さない闘いをはじめ、統一協会、国葬と戦前の転換がもとめられ、「再び戦争と暗黒政治を許さない」わが同盟の旗が輝きを増しています。

市民と野党の共同こそ政治の民主化実現の道、わたしたちの要求実現の道であります。この同盟の

役割を果たすべく、首都東京にふさわしい同盟建設をめざします。50周年に向けて、1500人の同盟を、東京全地域に同盟建設をめざし、支部の倍加を提案します。この約9年間の活動に確信を持ち勇躍し、50周年を迎えるか目標と

①各支部で議案を討議し、50周年をどういう支部で迎えるか目標と取り組みましょう。
②学習を基礎に定期に役員会、毎月の行動計画を持ちましょう。
③顕彰活動を重視し、第二次「千代子」上映運動を全支部で取り組みましょう。

計画を持ちましょう。
④「請願署名」の取り組みが遅れています。年内に訪問計画を立て、取り組みましょう。
⑤会費納入と募金を急ぎ、毎月の都本部への納入をお願いします。



「平和のための戦争展 in ねりま」を催しました。会場には、日中戦争の貴重な写真や戦争の記録の上映をし、書籍などの展示をしました。



「私の戦争体験」コーナーでは、3人の方がそれぞれ90代半ばとは思えない元気な声で、体験した戦争を語り戦争反対と平和への願いを参加者に伝えました。

終戦時、ほとんどの国民は戦争を反省し、二度と戦争をしないことを誓い、その結晶として平和憲法が生まれました。戦後、日本が1人の外国人も殺さず、1人の戦死者も出していないの

は、憲法9条があつたからです。本来、政府は二度と戦争はないという平和憲法の精神をもとに世界から戦争をなくすため平和外交に力をつくすべきです。でも改憲勢力が3分の2をしめることにより、先人の思いをふみにじり憲法の改悪を画策しています。

戦後77年の今、戦争の悲惨さを直接聞くことが難しくなっています。戦争体験を風化させず、次世代に継承していくことが大切です。

1300人になつた都同盟の一員として、練馬支

部も犠牲者への謝罪と国家賠償法の制定に向けて、区内の民主団体とともに運動を旺盛に進めて行きたいと思ひます。



今年は有志が声掛け合つて再開。私は喜んでサークル員に呼びかけて南京玉すだれを披露しました。例年の半数の出演者でしたが6演目が揃いました。少ないとはいえ中には著名な声優の朗読が第五福竜丸に起つた悲劇をリアルに伝えていました。また、この「集い」の中で結ばれたカップルがお子さん2人を交えて自作の歌を披露、見事なパフォーマンスでした。

世代交代がうまく広がり続くとよいなど願っています。

今年は有志が声掛け合つて再開。私は喜んでサークル員に呼びかけて南京玉すだれを披露しました。例年の半数の出演者でしたが6演目が揃いました。少ないとはいえ中には著名な声優の朗読が第五福竜丸に起つた悲劇をリアルに伝えていました。また、この「集い」の中で結ばれたカップルがお子さん2人を交えて自作の歌を披露、見事なパフォーマンスでした。

川柳
立ち入れぬ妻と娘の長電話
新宿区 阿部俊雄
小池知事今年も出さぬ追悼文
足立区 高橋陽子
植竹団扇選

アベ政治許さない旗手ばなせ
八王子市 清水邦治

命どう宝今届けたいウクライナ
豊島区 藤本増美

山際サン往生際が極まって
調布市 稲邑明也

國葬も五輪と同じ利権あり
荒川区 風間秀子

声聞かぬFAX切断岸田文雄
中野区 中嶋育雄

再選を果し破顔のカチャーシー
团 扇



第5福竜丸記念館にて



【読者のみなさんの投稿歓迎】

訃報
後藤太刀味副会長（78）
9月29日逝去。日本共産党山形県委員長退任後、立川市に居住。治安維持法国賠同盟立川・昭島支部を建設し事務局長に。都本部理事、2017年第40回都本部大会で副会長。治安維持法犠牲者の調査、発掘を進めました。これまで副会長。家族葬、喪主は妻・美千代さん。

紙芝居で福竜丸事件や水爆実験で汚染されたミクロネシアの海の話を語ります。平和を願う歌、舞踊の披露等します。賛同者がかなり広く各地から来ていました。ところが、コロナ禍で献花するだけの2年間、その上に昨年、主宰者が亡くなり、中心にいた皆さんも高齢になつており中止されました。

平和を語る第5福竜丸つどい

副会長 風間秀子

9月23日はお彼岸。夢の島の第五福竜丸では久保山愛吉さん

の命日なので、有志による「平和を語る第5福竜丸のつどい」がほぼ30年前から開催されていました。

治安維持法犠牲者の調査、発掘を進めました。これまで副会長。家

族葬、喪主は妻・美千代さん。